

令和5年1月5日

関係各位

特別養護老人ホーム孝養ハイツ  
施設長 小野寺 良光

新型コロナウイルス感染者の発生について（第二報（終報））

日頃より当法人の事業運営にご支援ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、特別養護老人ホーム（新館）入所者等における新型コロナウイルス感染者について、令和4年12月8日の第一報で9名の発生をお知らせしたところですが、その後の状況についてお知らせします。

一例目の感染確認後、一関保健所のご指導のもと新館短期入所スペースを隔離療養場所として感染拡大防止に努めて参りましたが、残念ながら12月9日以降も感染者が発生し、12月16日までに入所者23名、職員14名の計37名の感染が確認されたところです。

その後、更なる感染拡大防止のため、他の入所者及び接触のあった職員には抗原検査を実施し感染の有無を確認して参りましたが、令和5年1月5日までに新たな陽性者は確認されておりません。

また、同日行った隔離療養者への抗原検査で陰性が確認できたことから、通常の施設運営体制へ移行いたします。

なお、隔離療養場所確保のため、休止していましたが孝養ハイツ短期入所事業については、下記のとおり再開する予定で準備を進めていることを併せて報告いたします。

ご家族や関係者の皆様方には、多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことお詫び申し上げますとともに、今後も感染対策には万全を期して事業運営して参りますので、引き続きご指導とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

記

○ 短期入所事業 令和5年1月8日（日） 再開